

皆様に親しまれる景観へ

とくしまみなみかんじょうどうろ
～ 第4回 徳島南環状道路 景観検討委員会の開催について～

1. 概要

徳島河川国道事務所で整備を進めている徳島南環状道路について、多くの方に親しまれる道路空間を創出するために道路景観を検討する「徳島南環状道路 景観検討委員会」の第4回を開催します。

2. 開催日時、場所

開催日時 :平成 20年 2月 4日 (月) 9:30～ 12:00

開催場所 :国土交通省徳島河川国道事務所

今回の委員会での議題

- ・かんおんじ観音寺高架橋・あくい鮎喰新橋の検討
- ・かみはちまん上八万トンネル坑口の検討
- ・道路附属施設の検討
- ・緑化検討

過去の委員会では、景観整備方針及び景観検討項目の確認をはじめ、鮎喰川渡河橋梁や文化の森総合公園周辺等での景観への配慮事項や、観音寺高架橋、鮎喰新橋、上八万トンネルの基本形式やデザイン案、附属施設の基本方針、橋梁の色彩検討等について議論されました。

なお、委員会は常時傍聴可能ですが、撮影につきましては冒頭のみとさせていただきます。実施後は協議内容をホームページにて公表することで、広く地域の皆様のご意見を募集し、今後の景観検討の参考としていきたいと考えています。

URL : <http://www.toku-mlit.go.jp/road/b/jigyou/tokusimaring/keikan/index.htm>

平成 20年 1月 30日

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

【問い合わせ先】

徳島河川国道事務所

副所長 おかむら岡村

TEL :088-654-2211 (代表)
たまき環

徳島河川国道事務所

道路調査第一課
課長 いしはら石原

TEL :088-654-9612 (直通)
まさのり雅規

第1回委員会 (H19.2.27)

主な議題

事業進捗の把握

検討項目/スケジュールの提案

全体景観整備方針の策定

鮎喰新橋の橋梁形式

H18年度詳細設計構造物の報告

文化の森周辺修景計画

第2回委員会 (H19.7.24)

主な議題

第1回委員会の確認

平成19年度検討項目について

景観整備方針(案)について

橋梁色彩方針について

第3回委員会 (H19.11.19)

主な議題

観音寺高架橋の基本形式比較案

上八万トンネル坑口デザイン

鮎喰新橋の細部デザイン

道路付属施設の基本方針

鋼製橋梁の色彩

第4回委員会 (H20.2.4)

主な議題

観音寺高架橋の細部デザイン

上八万トンネル壁面部デザイン

鮎喰新橋の色彩デザイン

道路付属施設の細部デザイン

道路付属物の色彩

道路緑化

第5回委員会 (H20.3.予定)

主な議題(予定)

徳島南環状道路景観検討委員会とりまとめ

徳島南環状道路景観整備方針

景観整備テーマ

～ ^{MIZU} 水と ^{MIDORI} 緑と ^{MIRAI} 未来をつなぐ ^{MINAMI} 南環状道路 ～

概要

徳島南環状道路は、眉山に代表される自然豊かな景観をもつ地区を通過することから、市民や来訪者に都市の顔とは異なる一面を体感する路線として位置づけながら、以下の全体方針を基に皆様に親しまれる景観を備えた道路整備を目指します。

「周囲の景観に馴染み、融け込む構造物を整備」

「豊かな表情を持つ徳島の自然を提供する道路空間創り」

「ゾーン毎の特性を活かしながら統一感や一貫性を確保した整備」

個別構造物の検討

観音寺高架橋（一般部橋梁形式）

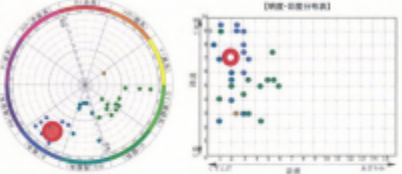


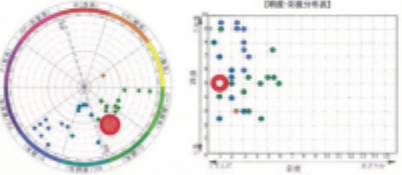


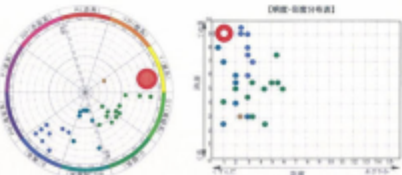


延長約2.6kmの観音寺高架橋の一般部高架橋橋梁形式が、風景の透過性が高く、軽快なシルエットとなる「PC中空床版橋」に決定しました。

第4回委員会では、橋脚形状等の細部のデザイン検討が行われます。



鮎喰新橋（色彩）

鮎喰川を渡河する鮎喰新橋の色彩は、「錆浅葱（さびあさぎ）色」「千歳茶（せんさいちゃ）色」「藁（わら）色」の3色を候補色として現場塗色板にて確認を行い、最終決定を行うこととなりました。

候補色	色彩イメージ	コメント	評価
<p>A' 案：錆浅葱（低彩度） (65-70B: 日本塗料工業会標準色見本帳) 5B 7.0/2.0 マンセル近似値</p> <p>【色彩テーマ】 シンボル性をもちながら、環境と融和する色彩。</p> 		<ul style="list-style-type: none"> 背景の空や遠景の山並みと調和しつつ、周辺樹木等に対して適度なコントラストを有している。 桁下等の近傍視点においても、比較的明るい印象となる。 	
<p>B' 案：千歳茶（低彩度） (45-50B: 日本塗料工業会標準色見本帳) 5G 5.0/1.0 マンセル近似値</p> <p>【色彩テーマ】 周辺環境の中に存在感を溶け込ませる色彩</p> 		<ul style="list-style-type: none"> 明度が中程度であるため、桁側面の陰影効果と併せて、壁高欄部のラインが強調される。 周辺樹木等に融和した印象となる。 桁下から等の近傍視点において、やや重たい印象となる。 	
<p>C' 案：藁色（低彩度） (27-90B: 日本塗料工業会標準色見本帳) 7.5Y 9.0/1.0 マンセル近似値</p> <p>【色彩テーマ】 シンボリックに橋梁を際立たせる色彩。</p> 		<ul style="list-style-type: none"> 明度が高いため、軽やかであるが、ややぼけた印象となる。 周辺環境色とのコントラストは3案中、最も高い。 桁下等の近傍視点においても、比較的明るい印象となる。 	

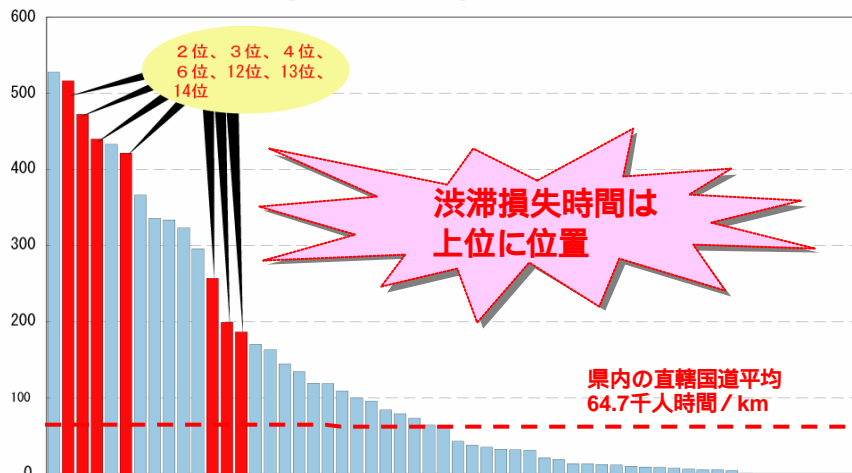
徳島南環状道路 景観検討委員会 委員名簿

	氏名	勤務先
委員長	山中 英生	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授
委員	鎌田 磨人	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 准教授
	花岡 史恵	(有)環境とまちづくり
	渡辺 健	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 助教
	真田 純子	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 助教
	綿谷 忠雄	徳島商工会議所 専務理事
	金沢 敏雄	徳島県 県土整備部 高規格道路推進局長
	日下 正義	徳島市 開発部長

事業概要

徳島市内の慢性的な交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を主な目的とした徳島環状道路全35kmの一部(9.5km)を構成する自動車専用道路です。
 昭和61年度に事業着手し、こくふちょうかんのんじ えんめい現在までに国府町観音寺から延命地区における側道2.6kmを供用中です。早期の全線供用を目指して事業を推進しています。

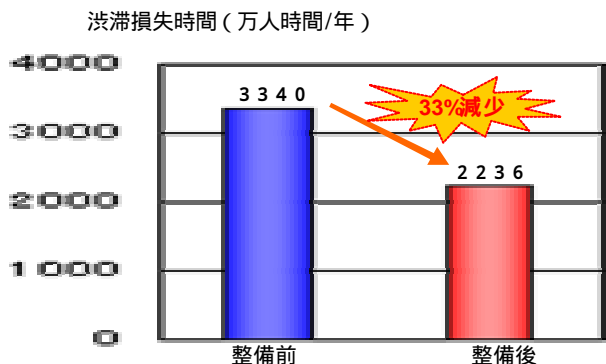
徳島県内の渋滞損失時間(千人時間/km)(直轄国道を渋滞の多い順に並べたグラフ)



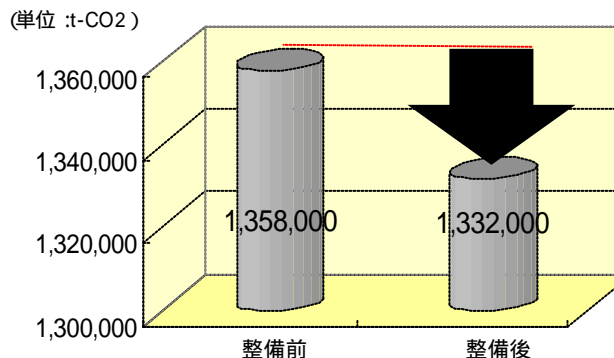
IC名はすべて仮称

事業成果

徳島南環状道路の完成によって、
渋滞損失時間が約33%減少



徳島市中心部の渋滞が解消されれば、
CO2排出量が約26,000t-co2/年減少



約26,000t-co2/年の削減効果あり



森林面積にして24.1km²
 徳島中央公園の面積(0.2km²)の約121倍の森林の吸収量と同じです